

ゴミアシナガサシガメ

Myiophanes tipulina Reuter
カメムシ目・サシガメ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

大型のサシガメであるが、個体数が少なく発見されにくいので、分布、生息状況の全容ははっきりしない。近年全国的にみられなくなってきている。

種の特徴

体長 16～17mmで、淡褐色の地に濃淡の斑紋があり、非常に長い毛でおおわれている。特に中、後脚の長軟毛は著しい。里山的環境に生息し、家屋内外で発見されることが多い。

分布

本州、四国、九州、伊豆諸島に分布するが、近年全国的にみられなくなってきている。県内での記録は「福井県昆虫図譜」(1938)以降では 1975 年の旧丸岡町での 1 頭のみである。

生息を脅かす要因

個体数が少なく、肉食の大型種なので環境の変化に影響を受けやすいと考えられる。また、里山環境の減少も大きな要因となっている。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、宮本 (1965)、日浦 (1993)、石川ら (2012)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○									○						

アイヌハンミョウ

Cicindela gemmata aino Lewis
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

河川改修等の影響で全国的に減少が著しく、17の都道府県でレッドリスト記載種になっている。近隣の富山県では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。

種の特徴

体長 16～17mm。ニワハンミョウやミヤマハンミョウに似るが、上翅先端の白紋が明瞭であり、上翅に青い点刻列がある。河川中流の砂地に生息し、成虫はおもに 3～6 月に活動する。

分布

北海道～九州にかけて分布している。本県では九頭竜川中流域、足羽川中流域に加え、大野市、小浜市でも生息が確認された。

生息を脅かす要因

河川改修や川原の利用、開発行為によって、生息地が減少するおそれがある。県内各地で河原の開発が進められているが、施工に際しては本種の生息環境を考慮した保護対策が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1985)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、環境省 (2015)、上野ら (1985)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○					○	○				○	○	○

マガタマハンミョウ

Cylindera ovipennis (Bates)
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

全国的に分布が狭く限定されており、本県の永平寺冠岳が西限域にあたる。決して稀ではないが、今後の推移を注視する必要がある。

種の特徴

体長約 15mm。背面は緑褐色、各上翅の中央に勾玉紋を持ち、その後方に三角紋があり、斑紋は変化する。後翅は無い。ニワハンミョウに似るが、上翅肩が無く、上翅の点刻列を欠く。春、ブナ帯の地表に現れて活発に歩き回る。時に側溝に落ちている。多降雪地帯を代表する昆虫として知られる。

分布

北海道南部～本州中部以北の日本海側に分布。本県では加越山地で確認されている。勝山市取立山で営巣の報告がある。今回、勝山市法恩寺山、大野市保月山でも確認された。

生息を脅かす要因

飛ぶ事ができず、移動範囲が制限されるため、環境変化に極めて弱い。周囲に豊かなブナ帯の存在がある開けた環境に生息しており、ブナ帯の環境改変も本種にとって脅威となる。また、幼虫は人が入りやすい地面に営巣するため、生息地の立ち入り管理が望まれる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1985)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、斎藤・片山 (2009)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
										○	○				○	○	